

令和8年第4回安芸太田町教育委員会議録

招 集 年 月 日	令和8年4月14日 (火)		
招 集 場 所	川・森・文化・交流センター3階 視聴覚室		
開 閉 会 日 時	開 会	令和8年4月14日 (火) 午前11時00分	
	閉 会	令和8年4月14日 (火) 午後0時06分	
出席・欠席委員	出席委員	大野正人・池野博文・清胤祐子・河本千絵・小田純子	
	欠席委員		
職務により会議 に出席した者	教育次長	長尾航治	
	課長	清水裕之	
	主幹	佐々木裕美	
	主幹	小坂法美	
議 事	議案第16号	安芸太田町学校給食共同調理場運営委員会委員 の委嘱について	可決
報告・協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校における働き方改革取組方針について 2 教育振興基本計画推進のための令和8年度各指標について 3 令和8年度教育委員会事務局 教育課事務分掌について 4 町内小中学校における生徒指導上の諸問題の状況について 5 学校間連携について 		

【議事録】

日程第1 開会

(午前11時00分開会)

教育長)

おはようございます。総合教育会議に続いてですがよろしく申し上げます。今年度初めての教育委員会会議でございます。本日は全員出席でございます。本日の会議の議題はお手元のとおりでございます。議案報告協議のうち公開になじまないものが有れば、最後にまわして審議したいと思っておりますがいかがでしょうか。

清胤委員)

特にないと思えます。

日程第2 教育長報告

(以下の項目について報告)

1 4月の教育長等の状況

- ① 役場定期人事異動辞令交付式・教職員辞令交付式・教育委員会事務局職員辞令交付(1日)
- ② 町校長研修会(2日)
- ③ 政策会議(3日)
- ④ 県立加計高等学校(6日)
- ⑤ 保育所・認定こども園 入所・入園式・進級式(7日)
- ⑥ 町立学小・中学校始業式・就任式(8日)
- ⑦ 町立小・中学校入学式(9日)
- ⑧ 広島県教育委員会へ年度始挨拶(10日)
- ⑨ 安芸太田町女性連合会総会(11日)
- ⑩ 深入山山焼き(12日)
- ⑪ 総合教育会議・教育委員会会議(14日)
- ⑫ 芸北支所相談員訪問(14日)
- ⑬ 町議会子ども子育て特別委員会(15日)
- ⑭ 令和8年度広島県市町教育長会議・情報交換会(15日)
- ⑮ 令和8年度保小連携推進協議会・合同研修(16日)
- ⑯ 令和8年度山県地区歯科衛生連絡協議会総会(16日)
- ⑰ 加計高校を育てる会(17日)
- ⑱ 町校長研修会、学校予算事務説明会、校長・事務長連絡会(20日)
- ⑲ 園所長研修会(21日)
- ⑳ 全国学力・学習状況調査(23日)
- ㉑ 昭和の日(29日)

2 ミニ研修

「本町教育が目指すもの」について説明

教育長)

何かご質問やご意見があれば付け加えていただけたらと思えます。申し上げます。

小田委員)

10代の大学生のボランティアさんって、どんな分野で登録されていらっしゃるんでしょうか。

教育長)

学習支援など自分の出来る特技を活かしたような形で子ども達の指導ができれば嬉しい、というようなところです。

池野委員)

4月1日の県費職員の辞令交付式に我々教育委員も参加させてもらったんですが、その時教育委員会事務局職員も自己紹介されたんですが、私はこの教育委員会の特色はですね、保育現場も支えていることだと思います。保育所長あるいは認定こども園の園長さんが式に出てですね、状況を説明されれば、県費職員にもですね、この町の特色がよくわかるだろうと。そういう意味で、来年からは辞令交付式に保育所長さんや認定こども園の園長さんが参加していただければありがたいと思いました。

長尾次長)

辞令交付がですね、4月1日っていうこともありまして、園所の方もですね、ご存知だと思うんですけども、新しい職員が来たりとか新しい体制で新しい子どもさんが来られたりっていうことでなかなか結構バタバタしているというようなこともございます。1日にこだわらずですね、ちょっとその辺りの所もできれば、というふうに思っておりますので検討します。

池野委員)

はい。長い時間じゃないですからよろしくお願いします。

教育長)

本当にありがたいご意見だと思います。先ほど申しましたが、0歳から15歳のチームですので、そういう機会をね、例えばこども園保育所小学校の連携とかいうような研修会もされていますし、小中の連携もやっているんですけど、何か一堂に会するという機会がございませんので、機会を大切にしたいと思っています。他、ございませんでしょうか。

(意見なし)

日程第3 議事

教育長)

議案第16号町安芸太田町学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。

清水課長)

(安芸太田町学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について説明)

教育長)

説明は以上でございますけれども、何かご質問はございませんか。

(意見なし)

教育長)

それではお諮りいたします。議案第 16 号安芸太田町学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱についてを原案のとおり賛成の方は挙手をお願いします。

(全員賛成)

教育長)

全員賛成です。よって、議案第 16 号安芸太田町学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱については原案のとおり可決されました。

日程第 4 報告・協議

教育長)

報告・協議 1 学校における働き方改革取組方針についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。

清水課長)

(学校における働き方改革取組方針について説明)

教育長)

説明は以上でございますが、何かご質問はございませんか。

河本委員)

目標を達成するための教員の業務量の適正化の中に部活動指導員の増員って書いてあるんですけど、具体的に教えてください。

清水課長)

部活動指導員は、部活動を指導する、教員以外の指導員と解釈していただければと考えております。ですからこれがまた部活動の地域展開や地域連携とも関わってくるんですけども、例えば地域の人材で部活動の指導ができる方を町で会計年度任用職員として雇用して部活指導にあたっていただく。

河本委員)

ボランティアとは違う。

清水課長)

そうですね。

長尾次長)

今年度に入りまして、地域おこし協力隊員の募集というのを町長部局と協力しながらやらせてもらっております。こういった部活動であったりとか体育活動の部分のサポートということで地域おこし協力隊員の募集を 1 名ほどですね、かけさせていた

いているという状況でございます。見つければですね部活支援の突破口というところでやっていきたいと思っております。

教育長)

他にございますでしょうか。

池野委員)

筒賀小学校で全部が複式学級になるということで、若い先生があたられると思うんですが、管理職の方は経験があつて若い人は非常に経験が少ないだろうと。そこらへんで時間外勤務が増えるのかなという気がしております。ぜひバックアップしてスムーズにいくようによろしくお願いします。

小田委員)

時間外在校時間 45 時間以下の割合を 100%にするっていうことで家に持って帰って仕事するっていうのが増えると意味がないんで、家でもゆっくり休めるようにできたらいいんじゃないかなと思って。

清水課長)

はい、ありがとうございます。持ち帰り業務、ということですがけれども、そちらについては学校でどの先生がどのような仕事を持ち帰って家でやっているかというような状況把握というのは各学校の校長先生にはお願いをしているところです。もちろん子育てをしている先生方とかはどうしても持ち帰らざるを得ない状況も全くゼロとは言えないんですけれども、やはりまずはその状況を学校側が把握していてその先生に対するフォローする態勢を作っていくということが大事だと思いますので、そちらの方も併せて進めていきたいと考えております。

河本委員)

在校時間が気になったんですけど、なんか数字をあんまりパーセンテージであるとかそこに固執してしまうと本末転倒というか、学校内での人間関係とかに響いてくると思うので、時間はちょっとかかったけど充実したのができたね、っていうこともあるんじゃないかと思っているので、あまり数字にこだわらないのが良いかと思えます。

清水課長)

承知しました。

教育長)

以上で本件の審議を終わります。

教育長)

報告・協議 2 教育振興基本計画推進のための令和 8 年度各指標についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。

清水課長)

(教育振興基本計画推進のための令和 8 年度各指標について説明)

教育長)

説明は以上でございますが何かご質問はございますでしょうか。

河本委員)

今の教育委員会主催の講座の実施回数を書いてあるんですけど、講座の中身は。

清水課長)

町長部局のものも合わせてということで、例えばスマホ教室ですかね、ああいうものでったりだとか、町の方では人権セミナーとか。

河本委員)

出席される方は。

清水課長)

それぞれの講座によりますね、やはり対象のターゲットも講座によって違うのもあるのでそれによっていろいろかなと。

長尾次長)

さっき教育長の報告の中で出てきたんですけど今まではですね、そのツールとして女性会とかに働きかけをしてたんですけど、解散されるということでこういったところやっぱり強いんですね、女性会連合会とかってというのは。非常にそういう動員力とかもあるんですけどそういうところがなくなってしまうことについて少し検討というかですね、しっかり取り組みをする必要があるかなと思います。

清胤委員)

学校ボランティアさんのお話なんですけど、昨年度 30 名ぐらいたったんですね、目標数集まった。そのそれぞれのボランティアさんに出動機会があったんでしょうか。

長尾次長)

これがですね、先程、総合教育会議の時に教育長の方からもありました通り、ようやく学校園所の方もこのボランティアさんの活用の仕方がわかってきて、これもまだ学校や園所によってはまだなかなかとっかかりができてないところもあるんですけども、非常に上手にお願いしながらボランティアの方もやる気の部分を引き出してもらいながらやっているっていう実情が先ほど教育長の方からありました。安芸太田中学校がですね、非常に上手に活用できているんじゃないかなと思います。具体的にはもう少し例えば読み聞かせとかいろんなことがあってもいいんですけど、特に学校の環境整備っていうところが非常に多くてですね、グラウンドの整備のほか例えば建具や網戸を直したりとか、こういったところもお願いをしてボランティアの方々ですね、快く引き受けてくださって、材料はもちろん学校が用意してですね、そういう張り替えをやってくれた人に子ども達がありがとうございまして声をかけるというような形で、しっかりボランティアの方もですね、やる気で受けていただいているという状況です。学校に入って直接活動されるっていうことでちょっと個人的に思っているんですけど、見守り隊でよくベストみたいなものをある程度人数が集まったら予算要求して出来ればそういう活動がもっと円滑になるようにですね、やる気になっていただけるかなと思っています。

清胤委員)

ベストとかキャップとか、一目でしてくださっているというのが分りますもんね。そういう方々には皆さんご挨拶きちんとね、深々とお辞儀してボランティアですもんね、そういうこと大事ですよ。せっかく登録していただいても出動機会がなかったとかお声かけがなかったっていうのはやる気を削ぐと思いますのでぜひともよろしくお願ひいたします。

池野委員)

スマホ講座の関連で言うんですが、知人がですね、スマホ講座の無線がよく流れるんだけど、私はこんな簡単な質問したら馬鹿にされるんじゃないか、どういう質問の仕方したらいいか分からないとか、そういう意味で、自分でハードルを高くしているんですけど。高齢者がスマホをかなり持っているのもその辺の心情にも配慮してもらってもっと広報の工夫をしていただければありがたいなと思います。

清水課長)

担当にも伝えておきます。

河本委員)

今何でもスマホの中で登録したりとか申請したりとかがあって、これできる人だけおるん、という声はよく聞くので、今日は具体的なマイナポータルのなんとかとか、そしたらまたいいかなという気がしますね。今日の講座これちょっとやってみますPayPayとかね。

清胤委員)

質問することが分からなくても、スマホお持ちの方はどうぞおいでくださいとかね。そういう感じどうですかね、私もその一人ですから。

長尾次長)

これに関しましてはですね、町長部局のほうがメインでやってもらっているところもあるんですけど、おっしゃったとうりなかなかとっつきにくいということで専門の方がこられても聞くのはちょっとこう無理なところがあるので、実は一昨年ぐらい少しやっているんですけど、町の職員がですね、時間をとってですね、横について実際にマンツーマンで、スマホの説明をさせてもらおうと非常にわかりやすかったと言って帰られるんですけど。本当に言われたようにですね少し来ていただけるっていうところをやらないとなかなかやっぱりとっつきにくいっていうところがあるんだらうと思って、この辺りはちょっと工夫がいるんだと思います。そのあたりは参考にさせて頂きながら内部で調整します。

教育長)

他にございませんでしょうか。
以上で本件の審議を終わります。

教育長)

報告・協議3 令和8年度教育委員会事務局教育課事務分掌についてを議題といたします。事務局より説明をお願いします。

清水課長)

(令和8年度教育委員会事務局教育課事務分掌について報告)

教育長)

よろしいでしょうか。

(意見なし)

教育長)

報告・協議4 町内小中学校における生徒指導上の諸問題の状況についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。

佐々木主幹)

(町内小中学校における生徒指導上の諸問題の状況について説明)

教育長)

説明は以上でございますが何かご質問はございますでしょうか。

清胤委員)

ありがとうございました、これぞ一番大事な教育だと思っています、私は家庭で3人の子どもを育てる時に、個別的な教科を教え込むんじゃなくて、これを一番大事にしました。3番目の子はフェンシングをやって日本代表になりましたけど、何度こけたことか。何度諦めそうになったことか。でもそこで諦めないっていつてまた前を向いて夢を叶えていこうっていうのは、こういう力が小さい頃から育まれてなかったら絶対できなかつたと思うんです。教えるっていうのがすごく難しくて子ども達に。子ども達が周囲の大人を見て、見てとって感じる感受性の問題だと思うんですね。だから生徒を指導される時の先生方は常に笑顔である、作り笑顔でもいいのでとにかくむつつりしない、だらっとしない、はきはきと元気よくなっていうのがすごく大事なことだと思うんです。お電話でも学校にかけさせていただくと、先生方疲れているのか、なんか落ち込んだ声で。役場なんか電話しても、あの大丈夫ですかってなんか声かけたくなるようなことがあるんですが。お電話に出たり生徒の前や保護者の前に出たりする時はどんなつらいことがあっても輝いて、口角あげてこんにちわって言うってそういう周りにいる大人がやっぱり工夫して努力すればするほど子ども達に伝わっていきやすい。先生たちだってね、親だってつらいこといっぱいあるんだよ。だけどね、あなたが大事だからこうやって笑顔であなたの前で会っていたいんだよって、あなたが大好きっていう気持ちを一番に伝えてあげてほしいと願っています。

河本委員)

どっちかという私もネガティブなんです。人の目、人の判断基準が常に頭にこびりついているのは自分で認識しているんですけど。なかなかそこがこの年になっていろんなものが削ぎ落とされて気にしなくてよくなった、その訓練をずっとしてこられたなって認めている部分もあるけど、根っこのところが、人の目を気にするところがどうしても抜けない。だから自分の感情を知っていつて、いうのがすごく大変だなと思って見えています。だけど周りは勘とかじゃなくてデータで、というのがちょっとありますよね。もしかしたらこういう時はこうしたらいいよって形で教えていただけたら、接するのにちょっと気が楽になるかなって思っています。私はどうしてもネガティ

ブになってしまうのでそういうものがどんどんこう構築していくと心強いと思うので、よろしくをお願いします。

小田委員)

先日ネットニュースに載っていたんですけど、今流行っているブレインロットっていうアイテムを盗みあうっていうのが、ゲーム上のことなだけで、次の日学校に行ったら本当に暴力で喧嘩になったりっていうのが最近全国的に問題になっているって。本当に我が子も同じで、我が子のことが書いているのかっていうぐらい書いてあって。もうその中でお互いに死ねとか平気で言い合っているし、次の日学校行ったら殴ってやるとか、最近ちょっとそういうのが流行っているみたいなんで。やめさせるのが難しいって書いてあって、学校の問題ではないので、親子でどういうふうに線引きして行くか。一緒にダメっていうだけじゃもう本当にやめられなくなっていて、どんどんもう一緒に考えようゴールにして行くか考えていくのが大切なんですよって書いてあって。そういう影響もあるのかな、とちょっと思いました。

清胤委員)

怖いゲームが流行っているんですね。

小田委員)

死ねとか平気で言う。それで恨みをもって、次の日学校で喧嘩になったりとか、なんかそういうのが最近多いみたいです。

清胤委員)

だからこそスポーツとか大事なんじゃないかと思うんですよ。そういう欲求、誰かをやっつけたいとか、やっぱり人間って本能的にもっていると思うので、競争意識。そういうの、どう言いますか体育の授業とか大事なじゃないですか。

教育長)

そういうね、ゲームの影響っていうのは、ゲームが出だしてからいろんな所で問題になっているところです。私も現職の時にそういうのが上がってきたときに、やっぱり学校の先生も学ばないといけない、ということでそのゲームの仕組みなどを学習したり話し合ったり、いろんなことをしました。小・中学校もされていると思いますけれども、学習の更新というか、そういう事も大事だと思います。本当にその通りです。ゲームの影響は大きかったです。私も肌で感じていました。

教育長)

報告・協議5 学校間連携について議題とします。事務局より説明をお願いします。

佐々木主幹)

学校間連携について説明)

教育長)

説明は以上ですが質問等ございますか。

河本委員)

町内での連携、というのはすごく良いことだなと思います。いつも見ていたら気づ

かないこととかもいつもと違う先生が考えたことで、こう言葉にしてもらえたら気づくこともありますし。

清胤委員)

良いことですね、本当に。

佐々木主幹)

難しさもありまして。特に中学校から小学校についていうふうなところについてはそこまでの大きなハードルはないんですけれども、小学校の教員が中学校に行くためには中学校の教員免許状が必要になってきます。そういったところも踏まえながら人材を選ぶ、というようなところもありつつ、やっぱり人材育成というふうなところの観点からもこのようなところに取り組んでみたいと思います。

教育長)

よろしいでしょうか。

(意見なし)

教育長)

以上で審議を終わらせていただきます。

教育長)

本日予定しておりました日程は全て終了いたしました。
次回の教育委員会議の日程調整をお願いします。

(次回の教育委員会議の日程調整)

5月14日木曜日ということでお願いします。

以上で令和8年第4回教育委員会議を終わります。ありがとうございました。

(午後0時06分 閉会)